

野アザミめ
棚田の畦で
じゃまをする
(舜)

四谷・連合地区の皆様へのお願い

【2005年全国棚田(千枚田)サミットに向けて】

4月25日、連谷地区における16年度役員会(各種新役員)が開かれました。

その役員会で来年、鳳来町で開催される第11回全国棚田(千枚田)サミットの協力を千枚田保存会長、副会長から連谷地区新役員の方々に主旨を説明、各戸への周知をお願いしました。

〈お願いの内容〉

サミット開催時期 平成17年9月上旬 2日間

主 催 全国棚田(千枚田)連絡協議会

主 管 2005年全国棚田サミット実行委員会(実行委員長は地元首長)

行事内容 総会、基調講演、棚田めぐり(参加者が千枚田を訪れます)、交流会、シンポジウム等

協力依頼項目

今年度：① 沿道(鳳来東栄線)の環境整備

② 各戸へのサミット開催周知

開催年：① 沿道の環境整備、花づくり運動等

② サミット開催時の出役依頼

・千枚田での催事への協力 ・交流会場での催事への協力

◎ サミット受入体制について

【鳳来町】 実行委員会組織の立ち上げによる計画・立案が始まる。

【地 元】 地元実行委員会組織を作り、サミットへの協力体制を整えるため、連谷地区が一体となった組織作りに協力をお願いしたい。

※ このサミットは連谷地区だけではできません。海老地区の役員の皆さんにも今後、同様のお願いを予定しております。
その節はよろしく申し上げます。

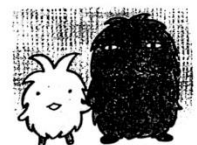
サミット特集

全国棚田(千枚田)サミット参加者の状況(第6回以降)

回数	年度	開催地	参加者総数	県外参加者数
第6回	平成12年度	福岡県浮羽町・星野村	1,025名	488名
第7回	平成13年度	石川県輪島市	1,300名	352名
第8回	平成14年度	千葉県鴨川市	799名	530名
第9回	平成15年度	岐阜県恵那市	983名	569名
平均			1,027名	485名

お願い

沢へアゼナミの破片、ごみ、雑草などが
流れ出ないように、ご協力をお願いします。



愛・地球博
AXPO
2005 AICHI
JAPAN



棚田サミット
2005 鳳来町
四谷千枚田

体験学習

五月十八日(火)、静岡県三ヶ日町の三ヶ日中学校の二年生が鳳来町を訪れ、総合学習の一環として県民の森で二泊三日の宿泊訓練を行いました。生徒は農業や観光、歴史など七コースに分かれ体験学習。千枚田には農業コース二十一名が田植や四谷の千枚田についての体験学習を行いました。

学習内容は保存会員から千枚田について概要説明や田植体験、千枚田で収穫したお米の「おにぎり」の食味体験など、キャアキャアワアワ楽しいひとときを過ごしました。特に保存会のおばさん達が十時のおやつにと握ってくれた「おにぎり」が甘くて美味しいと女の子でも四個も食べるほどの人気でした。それからふれあい広場までの道中、「大きな石垣はど

のようにして積み上げられたか」。鞍掛山の湧き水があったから田圃が出来た。「千枚田には、先祖が山崩れにもめげず、耕し続けてきた歴史がある」など、質疑応答を交えた学習を行いました。ながら景観道の坂道を登りました。

「ふれあい広場」に到着した生徒達は代かきや田植頃の棚田「千枚の水鏡」にワアオ〜と感嘆の声をあげました。

生徒達の体験学習の感想は：①少し田植しただけでも腰が痛くなった、農家の人達の大変さがわかった。②農家で若い人はいるか。③棚田を見て凄く感動した、頑張つて棚田を守つて下さい。④感想で一番多かったのは先生を含め「おにぎり」とつても美味しかった」でした。

(中日新聞掲載)

千枚田で田植え

五月十五日(日)、やまびこの丘、千枚田保存会、町産業観光課主催の「春の鞍掛山麓四谷の千枚田を体感してみませんか」という呼びかけで行われました。

参加者の三家族、八名は田植体験、千枚田散策など、田植頃の棚田で楽しい一日を過ごしました。

保存会役員会

五月十五日(土)、役員会が行われました。議題は平成十六年度鞍掛山麓千枚田保存会総会について 他

保存会総会開催

平成十六年度鞍掛山麓千枚田保存会総会が五月二十二日(土)午後七時三十分から連谷会館において開催されます。

講演

五月二十八日(金)、名古屋の愛知県産業貿易館で開かれる食とみどり、水を守る

る東海ブロック労農市民会議において保存会の小山舜二が「四谷千枚田の現状と保存活動」と題して講演します。

げなげな斬

④

古宿の中道を入ると大きな石積み田圃が見られます。この付近の石垣は山崩れで壊滅した田圃の復興の時、与良木の石工彦衛サ(原田一寿さんの曾祖父)を頭に重サ(与良木の本田重光さんの曾祖父の兄)、春サ(須山の松下邦雄さんの父)、清サ(与良木の今泉一憲さんの祖父)達、九六鍬サにより積み上げられたものだけ

な。大デコで巨岩をこじ動かし、やつとの思いで積上げた時などは、九六鍬サ達は積んだ巨岩の上に登りバンザイ、バンザイと手を挙げて大喜びをただげな。

大正十四年、連谷小学校

が現在地に建設された時の石垣(真菰寄り)も彦衛サを頭に重、春、清サにより積上げられたもんだげな。

(語り 原田二三男さん)

仮設トイレ

古宿から入った農道の終点にトイレを設置しました。トイレの汚れはお互いにイヤなものです。きれいに使いたしう。

湧き水

▽棚田がみるみるうちに水鏡になっていく。棚田の一年を通して今が一番活気のみなざる時期だ。

▽作業道の効用か、棚田サミットの影響か、棚田の耕作者から田圃を作るのは「嫌だ、ばからしい」などという声が以前ほど聞こえなくなつた。

いいことだ： (舜)

発行 平成十六年五月二十日

鞍掛山麓 千枚田保存会